

新時代の学びを支えるICT活用推進事業

現状・課題

○ICT教育サポーター育成プラットフォームを設置。ICT及び学校現場に精通した人材を確保・育成し、
県立学校58校へ週1回派遣

※学校アンケート結果（R4.11）：「満足」、「概ね満足」は計92.6%、

○ICT機器等の効果的な活用事例を収集、横展開する優良授業ポータルサイトを公開

・ICT活用授業の優良事例：210事例、
・探究的な学びの実践事例：83事例

▲令和3年度学校における教育の情報化の実態等に関する調査結果（R4.3.1）

・教員のICT活用指導力 R2：72.8%→R3：75.7%→**R4：80.3%** ※5人に1人が不安を覚えている

実施内容

ICT教育サポーター育成プラットフォーム（拡充）

- ・定時制（大分工業、中津東、日田、爽風館）への派遣
- ・2市町、私立学校3校が活用開始

【支援内容】

- ・授業におけるICT活用のアドバイス（事例やアプリの紹介等）

- ・ICT機器やアプリ等の活用に関する校内研修 など

ICT活用優良授業チャレンジ（拡充）

- ・これまでの授業実践事例に加え、ICTの効果的な活用のポイント等のショート動画や教員へのインタビュー記事を作成（20本）

好事例の実践の拡大

320事例（R5.3月末時点）

授業活用

授業外活用

端末持ち帰り

好事例の創出
学びの支援と
実践の好循環

学校現場への横展開

採点補助システムの導入（新規）※県立中・高校

- ・定期テスト等における「採点業務（採点・集計・転記）の効率化」による**教員の業務負担軽減**+**個別指導**の推進

県立社会教育施設のWi-Fi環境整備（継続）

- ・1人1台端末活用の場の拡大に向け、「歴史博物館」及び「埋蔵文化財センター」のWi-Fi環境整備

統合型校務支援システムの共同調達

- ・R5は、豊後大野市、中津市が導入予定。豊府中が活用開始。R6.4月から全市町村が同一システムで活用開始予定。
- ・18市町村で効果的な運用方法について協議・検証及び各自治体の有効活用事例の共有。